



奥尻島魚釣りの醍醐味

☆2つの大会で大物爆釣!!



まちの話題あれこれ

☆地元・眞野さん二人目の快挙!!

…HCC・奥尻島磯釣り大会

北海道キャストクラブ（=HCC）主催の「平成19年度奥尻島磯釣り大会」が、5月3日から4日にかけて奥尻島全域で開催されました。

この大会は、「06離島釣りダービー決勝大会」も兼ねた伝統ある全道大会として、魚釣りのメッカである奥尻島で毎年開催されているもので、全道各地から腕に自信のある投げ釣り愛好者62名が参加しました。

このうち奥尻町からは、地元有志の磯釣りクラブである「サンフィッシャーの会」のメンバーから12名がエントリーし、果敢に全道の腕自慢に挑みました。

当時は、時折の強い西風と、2メートルの磯波が変動する悪天候・悪条件にもかかわらず、今年から入賞ルールが変更となった「総合賞」「魚種別大物賞」「ダービー総合賞」の各部門の入賞を目指し、夜通しで大物狙いにチャレンジしていました。

過酷な闘いと僅差の身長・ポイント勝負の結果、他を圧倒する大きさの54.2センチのカジカを釣り上げたことが功を奏し、地元の眞野 潤さん（字宮津）が見事に総合優勝に輝きました。

この全道大会で、地元の参加者が総合で優勝したのは、平成16年の「第30回HCC全道磯釣り選手権大会」で総合優勝した工藤 宇一さん（字球浦）以来、二人目の快挙となりました。

なお、奥尻町から参加した12名中11名が、各部門で見事に入賞を果たす好成績をおさめていますのでご紹介します。

【総合賞】

◆優勝……眞野 潤さん（98.2ポイント・字宮津）

【魚種別大物賞】

◎アブラコの部

◆第4位……豊間根秀樹さん（45.2cm・字宮津）

◎ソイの部

◆優勝……堀川 龍一さん（37.0cm・字宮津）

◆準優勝……末原 義浩さん（35.5cm・字湯浜）

◆第4位……伊藤 真さん（25.0cm・字奥尻）

◎ホッケの部

◆第3位……由利由貴宏さん（44.0cm・字宮津）

◎カレイの部

◆準優勝……木村 孝義さん（41.0cm・字宮津）

◎ガヤ・ハチガラ

◆優勝……中川 直也さん（31.0cm・字奥尻）

◆準優勝……太田 元貴さん（30.9cm・字宮津）

◆第3位……斉藤 和彦さん（28.5cm・字宮津）

◎カジカの部

◆第4位……根本 武哉さん（43.5cm・字宮津）



ヒトデ釣ったぞ～

☆菊地家族が2ポイント差で優勝!!

…家族ふれあいフィッシング大会

教育委員会主催の「第17回家族ふれあいフィッシング大会」が、5月12日に奥尻港湾内で行われ、家族ごとのポイント制による漁獲を競い合いました。

この大会は、小学生のいる家族を対象に、家族のコミュニケーションを図る目的で毎年実施しているもので、今年は例年よりやや少ない14家族38名が参加し、親子で仲良く大漁を目指しました。

当日は、午前中は曇り模様で若干の風があり、やや肌寒い中でのスタートでしたが、午後からは晴れ間も見え始め、風も収まるなど、穏やかな絶好の魚釣りコンディションとなりました。

序盤は、ヒトデや海藻を釣り上げる珍プレーもあり、会場内に笑い声が響いていましたが、後半になって徐々に釣果が始め、カレイやアブラコ、ホッケなどを親子で次々と楽しそうに釣り上げていました。

また、優勝を確信して早めに切り上げる家族や、終了時間ぎりぎりまで粘る家族もいましたが、ポイント112点の菊地賢行ファミリーが2ポイント差の接戦を制し、見事に優勝を果たしました。

ちなみに、準優勝となった満島章家族は、昨年の大会に続き2年連続で惜しくも優勝を逃しています。

上位入賞家族と魚種別大物賞家族は、次のとおりです。

- 優勝……菊地 賢行家族（112点・青苗小）
- 準優勝……満島 章家族（110点・奥尻小）
- 第3位……太田 元貴家族（100点・宮津小）
- 第4位……眞野 潤家族（80点・宮津小）
- 第5位……平木 悟家族（70点・奥尻小）

【魚種別大物賞】

- ◆ホッケの部……丹羽 初己家族（41.5cm・青苗小）
- ◆カレイの部……根本 武哉家族（39.0cm・宮津小）
- ◆アブラコの部……満島 章家族（39.5cm・奥尻小）



総合優勝した眞野 潤さん



この日の大物賞がズラリと

わが家の ☆アイドル☆



高橋 友幸さん（字奥尻）の

(左) 長男 **せい 聖** **や 弥** くん (5歳7ヵ月)
(右) 次男 **ぎん 銀** **が 河** くん (3歳6ヵ月)

～両親からのメッセージ～

二人とも仲良く、優しい子になってね♡

☆長さんに北海道社会貢献賞!! …野生鳥獣保護功労者

奥尻町自然保護監視員と鳥獣保護員の長茂樹さん(字奥尻)に、このたび、北海道社会貢献賞が贈られました。

この賞は、野生鳥獣保護功労者として、個人で20年以上にわたって功績があった方に贈られるもので、長さんは同員として昭和57年から、野生鳥獣の保護や思想の普及、被害防止などに貢献した功績が認め

られてこのたびの受賞となったものです。

なお、この賞は5月17日に役場町長室で、佐藤檜山支庁地域振興部長から長さんに伝達されました。



▶玉井さん(右)と
佐々木さん(左)



北海道指導林家に

玉井さんと佐々木さん認定

北海道が認定する「北海道指導林家」として、平成19年4月11日付で玉井勲さん(字奥尻)と佐々木孝さん(字松江)の二人が北海道知事から認定され、4月19日にその認定式が行われました。

この「北海道指導林家」とは、近年の林業を取り巻く厳しい情勢の中で、地域林業を先導する中核的な存在として育成確保することが、森林経営の推進を図るためにも重要となっていることから、模範

的な施業技術などを有している方を北海道が「指導林家」として認定し、資質の向上や確保を図るとともに、林業の

普及指導事業における指導者として、積極的な活動を図ることを目的に認定されたものです。

◎玉井 勲さん

▼67歳・字奥尻、商業
▼老人ホーム施設長、奥尻町魚つきの森推進協議会会長

経営の方針

裸地をつくらないよう植樹を行い、複層林化により水資源の確保と土砂流失を防ぐなど、森林の公益機能を発揮させる。

◎佐々木 孝さん

▼67歳・字松江、漁業
▼奥尻町魚つきの森推進協議会副会長

経営の方針

林業経営や森林整備の推進を通し、地域環境の保全に繋がっていくことや、森林の大切さなどについて町民に伝えていく。